

# 行政の窓

## 平成29年度 北海道の木材関連施策について

道内のカラマツ・トドマツなどの人工林は、本格的な利用期を迎えています。これらの資源を活かし、森林資源の循環利用を推進するため、以下の施策に重点的に取り組みます。

### ○原木の安定的な供給体制の構築

間伐材等の利用のための伐倒・搬出や、路網の整備や高性能林業機械の導入に対する支援などにより、森林施業の低コスト化や生産性の向上を図るとともに、需給のマッチングの推進を通じ、木材産業の競争力の強化を図るなど、木材供給力を向上させる取組を進めます。

### ○地域材の利用の促進

道産CLTの需要拡大や供給体制の整備、公共施設の木造・木質化、林地未利用材の安定供給体制の構築などを通じ、建築分野をはじめとした様々な分野で地域材の需要を拡大・創出する取組を進めます。また、加工流通体制の整備などにより、木材産業の競争力の強化を図る取組を進めます。

### 原木の安定的な供給体制の構築、地域材の利用促進

- ◎ 合板・製材生産性強化対策事業 7,918,806千円 (H28繰越)
  - ・生産性や品質の向上を図る木材加工流通施設の整備
  - ・原木を安定供給する間伐の実施や路網の整備など
- ◎ 次世代木材生産・供給システム構築事業 301,161千円
  - ・間伐材の供給力の強化や安定供給の確保に必要な路網整備・伐倒・搬出への支援
- ◎ 道産CLT利用促進事業 13,182千円
  - ・協議会の開催、技術者の育成、普及PR、生産加工体制の整備
- ◎ 林業・木材産業構造改革事業費 662,157千円
  - ・高性能林業機械、木材加工流通施設、特用林産施設、木造公共施設及び木質バイオマス利用促進施設の整備
- ◎ 木質バイオマス資源活用促進事業 30,000千円
  - ・林地未利用材の集荷作業の検証、流通体制の構築、集荷モデルの実証
  - ・木質ペレットの消費者ニーズの把握、流通コストの低減など
- ◎ その他の取組
  - ・道産建築材の安定供給の推進
  - ・道産木材・木製品の魅力を伝えるプロモーションなど



道産CLTの普及PR



林地未利用材集荷手法の実証

### ○「北海道の木育」の推進

地域の木育活動に関するアドバイザーやコーディネーターの役割を担う木育マイスターと連携した木育活動に取り組むとともに、商業施設におけるイベント開催や小中学校における木育の推進など、木育の道民運動としての推進に取り組みます。

### 「北海道の木育」の推進

- ◎ 木育推進事業費 6,870千円
  - ・木育マイスターの育成・活用、子育て支援、教育における木育の推進
- ◎ 北海道・木育フェスタの開催 3,153千円
  - ・木育ひろばinチ・カ・ホ、道民森づくりネットワークの集いなど
- ◎ 道民との協働の森づくり推進事業費 17,993千円
  - ・ふれあいの小径整備、木育の情報発信など
- ◎ 予算事業以外の取組
  - ・「希望」を「きぼう」でプロジェクトなど



木育ひろばinチ・カ・ホ

(水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ)  
(水産林務部森林環境局森林活用課木育グループ)